



2020年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月11日

上場会社名 株式会社 ワイズテーブルコーポレーション
 コード番号 2798 URL <http://www.ystable.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長 (氏名) 金山 精三郎

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 (氏名) 池本 いつか

TEL 03-5412-0065

四半期報告書提出予定日 2019年10月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第2四半期の連結業績(2019年3月1日～2019年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	6,939	1.1	21		77	47.9	54	
2019年2月期第2四半期	7,019	0.9	19		52	32.1	54	

(注) 包括利益 2020年2月期第2四半期 54百万円 (%) 2019年2月期第2四半期 67百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	20.36	
2019年2月期第2四半期	20.66	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第2四半期	4,936	529	10.1	187.75
2019年2月期	4,571	477	9.7	167.40

(参考) 自己資本 2020年2月期第2四半期 499百万円 2019年2月期 445百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期		0.00		0.00	0.00
2020年2月期		0.00			
2020年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,730	0.3	164		289		182		68.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期2Q	2,660,900 株	2019年2月期	2,660,900 株
期末自己株式数	2020年2月期2Q	145 株	2019年2月期	145 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期2Q	2,660,755 株	2019年2月期2Q	2,660,755 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の緩やかな回復基調が続いており、各種政策等による雇用・所得環境の改善が続いている一方で、米中の通商問題の動向が世界経済に与える影響など、先行きの不透明感が拭えない状況が続いております。国内の個人消費については回復の傾向にあるものの、消費者の外出に対する低価格志向は依然として根強く、消費税率引き上げによる個人消費の冷え込みも懸念されます。

外食産業においては、原材料価格や物流コストの上昇、人手不足に伴う継続的な人材関連コストの上昇、消費志向やライフスタイルの変化などの影響から、引き続き厳しい事業環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、前連結会計年度に引き続き、既存店の販売強化、店舗管理体制の見直し、全社的なコストの見直しを推進してまいりました。当第2四半期連結累計期間におきましては、XEXグループ及びカジュアルレストラングループの既存店が堅調に推移したことに加えて、管理部門等のコスト削減効果が現れてきたことから、売上高は6,939百万円(前年同期比1.1%減少)、営業利益は21百万円(前年同期は営業損失19百万円)、経常利益は77百万円(前年同期比47.9%増加)となりました。また、特別利益として新株予約権戻入益2百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は54百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失54百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次の通りです。

①XEXグループ

「XEX」をはじめとする高級レストラン事業であるXEXグループにおいては、インバウンド需要への対応強化や継続的な販売強化を推進するとともに、人材の登用を積極的に行った結果、既存店の売上は概ね好調に推移し、前期に比べ収益性を大きく伸ばすことができました。また、2019年3月には、大規模改装により一時休業していた「The Kitchen Salvatore Cuomo NAGOYA」をリオープンしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の同グループの売上高は2,182百万円(前年同期比1.9%増加)、営業利益は134百万円(同62.8%増加)となりました。なお、店舗数は直営店8店舗となりました。

②カジュアルレストラングループ

カジュアルレストラングループについては、新たな出店はなく、既存店におけるサービスと料理の品質向上に注力したことにより、既存店の売上高及び営業利益が堅調に推移した一方で、フランチャイズ事業の売上が低調に推移しており、業績改善が引き続き課題となっています。また、2019年6月から8月において、韓国におけるFC店「PIZZA SALVATORE CUOMO 明洞」等4店舗を、運営店舗の選択と集中の目的で閉店いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の同グループの売上高は4,753百万円(前年同期比2.4%減少)、営業利益は476百万円(同0.7%増加)となりました。なお、店舗数は直営店46店舗、FC店43店舗となりました。

③その他

その他は、食料品等の卸売、小売事業、人材派遣事業及び不動産賃貸事業等により構成されております。人材派遣事業の立ち上げコストが増加したことから、当第2四半期連結累計期間の同グループの売上高は3百万円(前年同期比53.3%減少)、営業損失は22百万円(前年同期は営業損失8百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,026百万円となり、前連結会計年度末に比べ131百万円増加いたしました。これは主として、現金及び預金の減少37百万円、売掛金の増加161百万円、原材料及び貯蔵品の減少3百万円等によるものです。固定資産合計は2,909百万円となり、前連結会計年度末に比べ233百万円増加いたしました。これは主として、建物及び構築物の減少54百万円、リース資産の増加97百万円、のれんの減少21百万円、長期貸付金の増加211百万円、繰延税金資産の増加42百万円等によるものです。

この結果、総資産は4,936百万円となり、前連結会計年度末に比べ364百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,421百万円となり、前連結会計年度末に比べ286百万円増加いたしました。これは主として、買掛金の増加118百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少24百万円、未払金の増加52百万円、未払法人税の増加73百万円等によるものです。固定負債合計は1,984百万円となり、前連結会計年度末に比べ25百万円増加いたしました。これは主として、長期借入金の減少74百万円、長期前受収益の増加4百万円等によるものです。

この結果、負債合計は4,406百万円となり、前連結会計年度末に比べ312百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は529百万円となり、前連結会計年度末に比べ52百万円増加いたしました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上54百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は10.1%(前連結会計年度末は9.7%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年4月19日の「2019年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	963,326	926,004
売掛金	589,970	751,187
原材料及び貯蔵品	193,161	189,837
その他	148,853	159,768
貸倒引当金	△554	△592
流動資産合計	1,894,757	2,026,205
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,510,395	1,455,739
工具、器具及び備品(純額)	128,449	121,821
リース資産(純額)	49,724	146,932
建設仮勘定	30,444	4,185
その他(純額)	37,327	37,030
有形固定資産合計	1,756,341	1,765,709
無形固定資産		
のれん	53,534	32,120
その他	34,003	29,177
無形固定資産合計	87,537	61,297
投資その他の資産		
投資有価証券	49,273	47,730
長期貸付金	78,605	290,411
敷金及び保証金	653,043	649,466
繰延税金資産	44,009	86,395
その他	9,726	10,539
貸倒引当金	△1,817	△1,572
投資その他の資産合計	832,841	1,082,971
固定資産合計	2,676,720	2,909,979
資産合計	4,571,478	4,936,185
負債の部		
流動負債		
買掛金	548,333	666,533
1年内返済予定の長期借入金	530,296	505,954
未払金	661,282	714,181
未払法人税等	31,480	104,908
ポイント引当金	22,249	22,997
株主優待引当金	65,357	63,681
その他	276,192	343,712
流動負債合計	2,135,191	2,421,967
固定負債		
長期借入金	978,724	904,356
資産除去債務	831,591	834,378
長期前受収益	16,186	20,522
その他	132,342	225,387
固定負債合計	1,958,845	1,984,644
負債合計	4,094,036	4,406,611

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	830,375	830,375
資本剰余金	900,653	900,653
利益剰余金	△1,285,289	△1,231,123
自己株式	△362	△362
株主資本合計	445,376	499,542
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39	6
その他の包括利益累計額合計	39	6
新株予約権	32,025	30,024
純資産合計	477,441	529,573
負債純資産合計	4,571,478	4,936,185

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
売上高	7,019,212	6,939,040
売上原価	5,770,390	5,631,654
売上総利益	1,248,821	1,307,386
販売費及び一般管理費	1,267,903	1,286,120
営業利益又は営業損失(△)	△19,081	21,265
営業外収益		
受取利息	110	1,154
協賛金収入	50,977	51,784
為替差益	5,683	—
その他	25,974	15,739
営業外収益合計	82,745	68,678
営業外費用		
支払利息	9,058	7,783
為替差損	—	116
持分法による投資損失	—	1,495
その他	2,107	2,910
営業外費用合計	11,165	12,305
経常利益	52,497	77,639
特別利益		
新株予約権戻入益	—	2,001
特別利益合計	—	2,001
特別損失		
固定資産除却損	36,828	—
減損損失	37,219	—
特別損失合計	74,047	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△21,549	79,641
法人税、住民税及び事業税	16,254	67,845
法人税等調整額	23,591	△42,370
法人税等合計	39,846	25,474
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△61,396	54,166
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,427	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△54,969	54,166

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△61,396	54,166
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	△32
為替換算調整勘定	△6,070	—
その他の包括利益合計	△6,073	△32
四半期包括利益	△67,469	54,133
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△60,981	54,133
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,488	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△21,549	79,641
減価償却費	126,238	166,055
減損損失	37,219	—
固定資産除却損	36,828	—
のれん償却額	21,413	21,413
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△225	△205
株主優待引当金の増減額(△は減少)	311	△1,676
ポイント引当金の増減額(△は減少)	5,849	747
受取利息及び受取配当金	△120	△1,166
支払利息	9,058	7,783
持分法による投資損益(△は益)	—	1,495
為替差損益(△は益)	△5,867	—
新株予約権戻入益	—	△2,001
売上債権の増減額(△は増加)	△89,553	△161,217
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,789	3,324
前払費用の増減額(△は増加)	△8,646	6,901
立替金の増減額(△は増加)	△99,962	4,103
仕入債務の増減額(△は減少)	108,507	118,200
未払金の増減額(△は減少)	42,205	75,462
未払消費税等の増減額(△は減少)	21,863	34,307
前受収益の増減額(△は減少)	△40,320	△27,559
その他	△143	50,678
小計	139,317	376,287
利息及び配当金の受取額	119	72
利息の支払額	△8,928	△7,449
法人税等の還付額	21,899	—
法人税等の支払額	△15,008	△17,486
営業活動によるキャッシュ・フロー	137,399	351,423
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△135,546	△64,968
無形固定資産の取得による支出	△539	—
貸付けによる支出	—	△212,062
貸付金の回収による収入	2,353	244
資産除去債務の履行による支出	△27,540	—
敷金及び保証金の差入による支出	△4,033	△382
敷金及び保証金の回収による収入	47,406	3,889
投資活動によるキャッシュ・フロー	△117,899	△273,279
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△345,583	△298,710
リース債務の返済による支出	△9,338	△16,755
非支配株主からの払込みによる収入	5,500	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△49,421	△115,465
現金及び現金同等物に係る換算差額	△199	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△30,121	△37,321
現金及び現金同等物の期首残高	1,512,137	963,326
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,482,015	926,004

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年3月1日至2018年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,142,276	4,870,027	7,012,303	6,908	7,019,212	—	7,019,212
セグメント間の内部 売上高又は振替高	31	2,968	2,999	226,540	229,540	△229,540	—
計	2,142,308	4,872,995	7,015,303	233,449	7,248,752	△229,540	7,019,212
セグメント利益又は損失 (△)	82,471	472,835	555,307	△8,923	546,384	△565,466	△19,081

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△565,466千円には、セグメント間取引消去額2,033千円、各セグメントに配分していない全社費用△567,499千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に、「カジュアルレストラングループ」セグメントにおいて22,802千円、共用資産である事業所設備について14,417千円の減損損失を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,182,121	4,753,691	6,935,813	3,226	6,939,040	—	6,939,040
セグメント間の内部 売上高又は振替高	80	—	80	186,944	187,024	△187,024	—
計	2,182,202	4,753,691	6,935,893	190,171	7,126,064	△187,024	6,939,040
セグメント利益又は損失 (△)	134,305	476,160	610,465	△22,432	588,033	△566,767	21,265

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△566,767千円には、セグメント間取引消去額1,133千円、各セグメントに配分していない全社費用△567,900千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。